

会長挨拶

「平成二十五年新春」

浦和稲門会々長 辻村大司



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

早稲田大学校友会は「2010年」に創立125年を迎えた早稲田大学が初めて卒業生を輩出した翌年に誕生した同窓会組織です。今私が立っている場所は大隈タワー十六階の交友サロンです。早稲田大学の全容が展望できます。青春の七年間過した「喜び」と「誇り」に満ちた場所です。新しい勇気が湧いてきます。創立125周年の時期は校内には女子学生が目立ちましたが最近では外国の留学生の元気な姿を多く散見します。早稲田大学には四千名を超える外国人学生が在籍。昨年一年間の海外留学には948名、「海外プログラム」には1819名の学生が参加しました。グローバルの荒波の中に進路を模索しております。校友会活動も「脱皮しない蛇は滅びる」自己満足になりつゝある現況を見直し姿は変わらずとも「気持ちを入れ替へる」小さなことでも毎日新しい何かを見つけて「精神の脱皮」につなげていきたいと思ひます。

浦和稲門会は「実稼働会員」百人を超す大世帯に成長しました。五月の「定期総会」一月の「新年会」以外にも「ゴルフ」「旅行」「麻雀」等の専門部会活動を通じて親睦と交流を深め「早稲田」を目指す若い人達の期待に応えたいと思ひます。会員に皆様のご参加ご協力をお願い申し上げます。

浦和稲門会会報

No11

平成25年4月

発行人

浦和稲門会

事務局 金子裕司

TEL (861) 3445

FAX 330-0065

さいたま市浦和区

神明 2-13-10



浦和稲門会 総会のご案内

平成25年5月25日(土) 会場 浦和ワシントンホテル3F プリムローズに於いて
受付開始 16:30 開式・17:00 会員の皆様の参加をお待ちしています。

*講演 松蔭大学講師 長谷川 勤氏 S46年 社会科学部卒

テーマ 「吉田松陰と八重の桜」

山鹿流兵学師範となった吉田松陰は、さらなる修業のために数度の諸国遊歴を行うが、友人と強行した東北遊歴は、彼にとって波瀾の人生の幕開けとなった。

東北遊歴の時に、山鹿素行の生誕地である会津を二度も訪問して交流機会を持ち研鑽を積んだ。松陰が軍学教授をつとめた萩の「明倫館」と、会津の「日新館」は武士道精神をもつ代表的な藩校であった。嘉永7年、下田蹈海に失敗した松陰は政治犯として幽囚の身となりながら、後に松下村塾を主宰して多くの門下生を育てた。松陰死後の元治元年に新島襄は函館で密航してキリスト教徒となり、維新後に米国から帰国した新島は京都に学校創設を計画する。八重は戊辰戦争後に京都府顧問となった兄の山本覚馬を頼って上京し、このご縁から新島と結婚して夫の教育事業を助けることになる。おりしも、東京専門学校設立を計画していた大隈重信は新島の計画に賛同し同志とともに協力をする。こうした機縁があって同志社の教育事業が軌道に乗る。

会津藩の悲劇の原点は「京都守護職」の就任であり、長州と会津の因縁がここから始まる。長州藩が、文久3年8月の政変で京都を追われたことの挽回を期した「禁門の変」で、危機に立たされた年に新島襄は函館から松陰が失敗した「密航」を成功させたのであった。松下村塾で松陰が育てた俊秀たちが、相次いで散華したのもこの年であった。戊辰戦争の結果は「勝者と敗者」の関係となり、八重の胸に会津魂を宿し続け、後の日清日露の戦役で篤志看護婦としての活躍となり、日本女性として初の叙勲の栄誉に輝く。

幕末維新の時代背景や人間模様は、大変複雑であるが、これ等を識って「八重の桜」を観ると、その時代に生きた人たちの胸中に思いを馳せながら楽しむことが出来るように思われる。

平成24年度 事業報告



幹事長 山本裕二

平成24年

- 4月5日(木) 会計監査 綱川絢子監査
辻村会長・金子裕司事務局長出席
- 4月21日(土) 埼玉県支部役員幹事会 於:川口リリア
辻村会長・山本幹事長出席
- 4月41日(土) 第24回麻雀大会
- 5月12日(土) 浦和稲門会定期総会
於 浦和ワシントンホテル 出席56名
- 5月16日(水) 埼玉(浦和市)東京六大学ゴルフコンペ
役員連絡会
- 6月6日(水) 第40回浦和稲門会ゴルフコンペ
(於:ゴールド佐野カントリークラブ)
- 6月9日(土) 第1回 役員幹事会 定期総会収支報告
稲門祭関連・その他
- 6月12日(火)~13日(水)浦和稲門会旅行部会
長野県松本浅間温泉浦和ロータリークラブ親睦ゴルフ実施
- 6月16日(土) 第25回 麻雀大会
- 8月18日(土) 第26回 麻雀大会
- 9月2日(日) 第41回 浦和稲門会ゴルフコンペ
(レイクランドカントリークラブ)
- 10月13日(土) 第2回役員幹事会 稲門祭・埼玉県支部
大会・新年会関連行事・出席14名

10月20日(土) 第27回麻雀大会

10月21日(日) ホームカミングデー・稲門祭

11月8日(土) さいたま(浦和)市東京六大学ゴルフコンペ
(於:飯能ゴルフクラブ)幹事校法政大学
浦和稲門会第3位

11月10日(土) 早稲田大学校友会埼玉県支部大会

主幹事越谷吉川松伏稲門会 辻村会長・金子副会長
山本幹事長以下7名出席

12月6日(木) 第42回浦和稲門会定例ゴルフコンペ
於:星の宮カントリークラブ)

プレイ終了後、於 割烹 千代田にて忘年会

12月15日(土) 第28回 麻雀大会

平成25年

1月12日(土) 浦和稲門会新年懇親会

於 浦和ロイヤルパインズホテル 出席58名

2月16日(土) 第29回 麻雀大会

2月16日(土) 第3回 役員幹事会 新年会収支報告会
定期総会骨子 出席13名

3月27日(水) 第43回 浦和稲門会コンペ

於:こだまゴルフクラブ

4月27日(土) 第1回 役員幹事会 於:千代田

5月25日(土) 浦和稲門会定期総会

於 浦和ワシントンホテル

講演

『戦前の早稲田』

24年5月12日 総会に於て



佐藤浩司氏

今回この機会を与えて下さった浦和稲門会の会長はじめ役員の方々に感謝申し上げます。

私は昭和二十一年九月商学部卒業です。先ず戦前の早稲田大学に入学するのに六大学で言う大学予科に当たる高等学院に入学しなければなりません。早稲田の場合第一と第二とあり、第一高等学院は文化と理科があり中学四年から受験出来三年です。第二は文化のみで中学五年から二年間でした。第一は穴幡にあり第二は十四号館にありました。第一は戦前の旧制高等学校の気風あり第二は大学予科の気風でパンカラさはありませんでした。今でも高等学院時代のクラスメートと会うのが懐かしく楽しい。語学単位のクラスの分け方で特筆すべきは第二外国語を独語佛語支那語ロシア語のクラスもありました。まず

真先に大隈邸の話をししましょう。毎週土曜日は開放日で見学は自由であり大隈庭園の門を入った右側に庭を一望出来る平家建でした。その玄関の立派な事後年になって川越藩の本丸御殿を見た時、正にそっくりですが明治の元勳の玄関はすごいとびっくりさせられました。門を入れて突き当たりは学生ホールでカレーライスが十銭で食べられた時代です。次に正門を入れて大隈老候の銅像がある。其の右側に恩賜記念館がありました。明治天皇が大学行幸の折下賜されたお金で建てられた。今の東京駅舎風の赤レンガとみかげ石を交ぜた建築様式で周囲の雰囲気とは一段と目立つものでした。後で聞いた事ですが慶応の図書館と設計者が同じですがよく似ています。第二高等学院に入学した時に休講の事があると近くの甘泉園に行って友とだべって時間を費す事もありました。大名の下屋敷と言われる格式のある公園でした。戦前は早稲田の所有と聞いています。昭和十八年十月に目出度く商学部に入る事が出来ました。高等学院時代の丸い帽子から角帽に変わった時初めて私は早稲田の大学生になったと言う実感を持つ事が出来ました。それは当時新宿に行けば早稲田の学生さんと言う事で大変モテました。ご想像にお任せします。次に昭和十八年二月一日学徒出陣で満二十歳以上の文科系の学生のみ殆ど招集されました。私は未だ十八歳でしたので出征しなかったのですが学院時代のクラスメートの2/3は出征しました。又十八年の十月頃でしたか最後の早慶戦と云う事で今の図書館の場所に安倍球場があり其処で暗くなる迄で試合を観戦した記憶が生々しい、軍隊に行った人も残った人も生涯忘れ得ぬ出来事でした。未だ未だ書き足りない面も沢山ありますが紙面の都合上此処で擱筆させて戴ます。

会 員 報 告

プロ・アマ 競技に参加して



吉野友康氏

昨年5月プロ・アマ競技に出場するチャンスを得ました。舞台は「日本ゴルフツアー選手権」。期待と不安の入り混じった気持ちで穴戸ヒルズCCに到着。受付をすると「吉野さん、横尾要プロの組です」。レストランで朝食を摂り、集合場所に行くと、見慣れた顔、顔、顔。おーっ、有名プロばかりではないか。この大会はプロ1名・アマ3名による37チームがスクランブル方式によってスコアを競う団体戦。4人がティーショットを打ち、最もよい地点から4人が2打目を打つ。グリーン上でも選択した地点から4人がパターを打つ。1打、1打4人が集まることになり、懇親を深めることが出来るため、近年世界で主流になっているようだ。但し、アマのショットを18ホール中一人につき最低2回（これは決めごと）は選択しなければならない。ここがミソ。さあ花火の合図にロケットスタート。我々が横尾要チームは12番から出発。横尾プロは皆さんご存じのイケ面の人気プロ。礼儀正しく、気さくでとても楽しくラウンドが出来、素晴らしい思い出になりました。結果は8アンダー。やったーと思いきや、優勝は矢野東チームの15アンダー。私も今年で62歳。ゴルフ歴36年。吉田ゴルフ部会長のよう元気、楽しく、一日でも長くゴルフを続けていきたいと思っています。

S. 48・商学部卒

出戻ったよう です。宜しく



森川征男氏

浦和稲門会に入会させてもらったのは十年余前だと思います。私は昭和四十一年商学部を卒業し、現在戸田市で社会保険労務士と行政書士の事務所を営んでおります。在学中サークルで綱川綾子さんと同級生だった縁で入会しました。最初の内はよく行事に参加していたのですが、仕事の忙しさにかまけて、足が遠のいてしまいました。昨年綱川さんに「最近稲門会に全然出て来ないね。」と言われ、そう言えば、ここ一、二年は通知が来ないことを申し上げると、どうやら退会扱いになっていたようです。綱川さんのおかげで久しぶりに今年の新年会に出席させて頂きました。これからは時間の許す限り、出席致しますので、長年のご無沙汰をお許し下さい。但し、昨年来の膝の関節炎に悩まされておりますので、ゴルフ等のスポーツは暫くご辞退することになります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

昭和四十一年 商学部卒

校歌再考



君島克徳氏

昨年12月、ゼミOB主催による恩師のお別れ会が大学構内であった。全国から200余名のゼミOB、OGが集まった。久しぶりに大学を訪れ、大隈侯の銅像と大隈講堂を眺めるとやはり校歌とともに当時の出来事が自然と思い出されてくる。このOB会は、私達昭和52年卒業生が在校時に第2次オイルショック後の就職難を乗り切る目的で創ったのであった。過去20数年間の卒業生を調べ、謄写版刷りの名簿作り、OB会長の依頼にと東奔西走した。ゼミの内容は広告管理論というもので、多くの卒業生は広告代理店があるいは錚々たる企業の広告宣伝部、広報部といったところに就職していた。第1期生は昭和28年卒業で、私達昭和52年卒業まで24年間あり、約400名の卒業生がいた。その後、恩師は平成10年、74歳の時に最終講義を行ったとのことであるから、私達の卒業後20年間でゼミ卒業生は約400名、合計800名のゼミOB、OGを広告業界に輩出したのであった。某大手広告代理店社内にも「大なる使命を担いて立てる」ゼミ卒業生がおり、社内でゼミOB会が結成されるというほどであった。当日、驚いたのは出席者の半数近くがOGであったことだ。私達の頃は男子学生のほうが多く女子学生は少なかった。当時のゼミにも各学年1人しかいなかった。隔世の感があった。恩師の奥様の言によると「昔は成績だけでゼミ生を選抜すると、ほとんど女子学生になってしまい、男子学生の面目を潰し就職にも影響が出てしまうので、真に優秀な女子学生のみを厳選して入れていた」とのことであった。恩師の言葉を証明するように私達の1年後輩、昭和53年卒業生から商学部初の女性学部長が誕生した。昨今、女性パワーの社会進出が喧しいが、我がゼミでは今から40年近く前に其の予兆があったということだ。「進取の精神」ということか、あるいは草食系男子学生が増えてしまったのであろうか。浦和稲門会に毎回参加しているが、出席するたびに素晴らしい方々と親しく会話させていただき、充実感を覚えて帰ることができる。これも「集まり散じて人は変われど仰ぐは同じき理想の光」の所為なのであろうか。それにしても明治40年、新潟県糸魚川出身の当時25歳の相馬御風には来たるべき21世紀が見えていたのであろうか。不朽の名校歌といわれているが、改めて実感している次第である。

昭和五十二年 商学部卒

私事雑感



遊馬 賢氏

浦和稲門会に入会して10年になるうか。恒例の新年会と5月の総会には殆んど出席している。それというのもほろ酔い気分になって最後に歌う「都の西北」に陶醉できるからである。其の瞬間半世紀前にタイムスリップして、学生時代の数々の場面が蘇ってくる。

私が生れ育ったのは、旧与野市で現住所もここである。8年前にサラリーマンを卒業し、名ばかり会社で不動産管理をしている。永年この地に住んでいるため、地域との関わりが多く、地区の自治会長を一昨年まで7年間務め、サラリーマン時代とは異なる、多くの人達との交流を重ね行政の下請けをし、直言し、対する認識を深めることもできた。今、さいたま市中央区とはいえ、数10年前までは草深い農村であったため、私はとかく緑に縁があり、(社)日本ツバキ協会や全国巨樹巨木林の会の会員である。早稲田鶴巻町近くの、江戸川橋にあるツバキ協会事務所に週1回は出かけている。両会とも各地持ち回りで全国フォーラムがあり、其の地特有の椿花や偉容を誇る巨樹を見て回るのが楽しみである。これらの樹木は地球環境、自然保護といった観点からも後世へ遺して欲しいと願っている。

昭和37年 第二政経学部卒

学 ぶ



小滝敏郎氏

母校早稲田大学の我が学部が、今年創設130周年を迎えるそうです。学部長は、不断の学問を追求し、在野の精神に立ってグローバル社会の未来を切り開く、これこそが伝統の政治経済学部の使命であると言っております。そのため新3号館を建設するそうです。私も卒業生として微力ながらご協力させていただきました。ところで、ライバル慶応大学の福沢諭吉の「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」有名な言葉ですが、実はこの後福沢諭吉はこの世の中には貧富や貴賤の差があると指摘しています。なぜ平等であるはずの人間に差ができてしまうのか？その理由を「人学ばざれば智なし、智なき者は愚人なり」と言っています。要は賢い人と愚かな人の差は学ぶか学ばないかによって決まるのだ、という訳です。私も慶応大学に負けじと早稲田大学の卒業生として、何歳になっても学び続けたいものだと考えております。

昭和63年 政経経済卒

お父さん 僕は



市川 徹氏

「お父さん、僕、早稲田の法学部を受験したいんだ。」

たまたまテレビをつけたら、そのようなドラマのシーンに出くわしました。今でも、高校生達が「入りたい！」と思う大学なのだろうか？と多少の疑問を抱きながら見ていたら、主人公の姓が市川、名前はアキラと伯父と同名。「とんび」というドラマで、ネット調べたら原作者の重松清さんは、やはり早稲田卒でした。「多少の疑問」を抱いたのは、高校時代の私が早稲田に行きたくなくなったという理由からでした。わしの家は祖父、父、ドラマの主人公と同名の伯父に加え、叔父の一人も早稲田出身だったため、親子三代早稲田ということに(何故か)当時はひどく抵抗があったためです。浦和高校に落ち、高校から早稲田実業へ通っていた私が他校を受験することは、成績面で難しく、結局早稲田に入学したのですが…3年ほど前に、今の仕事を始めてからは、浦和稲門会に加え、司法書士、社会保険労務士、年次の4つの稲門会に入り、昨年からは校友会の幹事、総務委員、代議員も務めさせていただいております。ああ、なんという変わりよう(笑)

昭和62年 商学部卒

はじめ まして



白井 真氏

はじめまして。この度入会させて頂きました白井真と申します。東京出身で浦和に縁のなかった私が入会させて頂くことになったのは、浦和の街の素晴らしさが大きな要因です。5年前、ようやく「駆け出しの」が取れた若手弁護士だった私は、縁あって、さいたま新都心にある財務省関東財務局に出向して新しい仕事にチャレンジすることになりました。そのときお世話になった公務員宿舎が武蔵浦和にあり、都会でありながら、緑豊かで美しく、また文化的な浦和生活を満喫したのです。その後、霞ヶ関(金融庁)への転勤に伴い都会の宿舎に移ったのですが、望郷の念止み難く(?)一昨年念願かなって浦和に新居を購入し、帰還することができました。2歳の息子もいまでは埼玉スタジアムがお気に入り。浦和っ子として順調に成長中!です。皆様どうぞ末永いお付き合いの程宜しくお願ひ申し上げます。

1996年法学部入学・2001年卒

早稲田 魂を胸に



熊倉 正子氏

1981年第一文学部卒業の熊倉です。澁谷正子(又は、しぶやまさこ)名義でミステリーと児童書の翻訳をしています。一昨年、受験する娘に(嫌がられながらも)強引についていき、数十年ぶりに早稲田に足を踏み入れました。街並みはすっかり変わってしまいましたが、学生時代の思い出が次々と蘇ってきて感慨深いものがありました。

校歌の『集まり散じて人は変われど』という歌詞が、今も頭の中でリフレインしています。このキャンパスで出合った懐かしい仲間たち、皆それぞれの道で自分なりの『理想の光』を求めて邁進していることでしょう。いつかまた皆と会ったときに輝いている自分であられるよう、仕事でも私生活でも日々充実、全力投球を心がけていきたいと思ひます。

新年会でお目にかかった交友に皆様、どうか今後も細く長くお付き合いのほど、よろしくお願ひいたします。

1981年 第一文学部卒

碌碌会～ 旧友の句会



高橋 雄一氏

卒業式のなかった学年、1966年の卒業で、句会名はそれに因んでいます。
十年程前、政治学科当時のクラスの仲間十余人で、春の津軽路を訪れた折、帰りの列車で少々酔った勢いで一人の提案で始まったものです。概ね二ヶ月に一回の割ですが、句会はまだ55回を重ねました。会に引き摺り込まれた私など元々俳句の経験はなく、投句締切日前は、大学の期末試験前よろしく難吟苦吟ですが、何とか間に合わせ投句した後の開放感はいいものです。投句は一人5句で、毎回大体50句、互選者は、メール参加を入れて12～3人です。有名俳人のかつての門下生や、毎週の新聞投稿組とか、素人の域を超えつつあるのが何人かおっています。句会は、夕方軽く一杯入れて、談論風発、その後に俳句の合評、出る意見は「類句が多い」「作為がある」「付き過ぎ…」と、中々厳しい。孫の句や、作者の思い入れの句は、先ず点が入らない。唸らせる句もあります。私の句は滅多に入りませんが、兼題温め酒で、「いつからを余生というや温め酒」、これに割合共感を得たのは参加者の年齢でしょうね。

1966年（昭和41年 第一政治政経学部卒）

新人紹介



山本 明宏さん



熊倉 正子さん



白井 真さん

麻雀部会



金子 努氏

2ヶ月に1回のペースで例会を実施しています。第2～第3土曜日午前11:00～4:00頃迄行っています。すでに31回目となりました。本年度6回の例会では慶応大学との対抗戦で行い、我早稲田は4勝2敗であります。現在24名に例会案内を出し、8～12名位の参加で、慶応8～10名の常連参加者がおられます。前回の大会には立教大学より吉村雅男氏がオブザーバーとして参加され、大会を盛り上げて下さいました。回を重ねる毎に顔見知りが増え段々と親しみがわいてきます。今後他の大学の方々にも参加を呼びかけ、益々元気な部会になればと願っています。皆様ふるってご参加下さい。



旅行部会



大熊繁紀氏

昨年24年度は8月16日～17日、松本高原へ参りました。浦和ロータリークラブの方々の参加もあり、高原のさわやかな雰囲気を楽しむ事が出来ました。（残念ながら写真を撮り忘れました）今春には、4月22日～23日で花巻温泉に決定し、宮沢賢治記念館の見学等を予定しています。

ゴルフ部会



吉田 俊夫氏

第39回筑波東急ゴルフクラブ H24年3月15日、晴天の中参加者20名でした。若井誠治氏が優勝しスコア45・36という素晴らしいゴルフを披露しました。準優勝・山本裕二氏、三位・細田拓氏。第40回ゴールド佐野カントリークラブ6月6日、この日も最高のゴルフ日和で相沢俊子氏（庄平氏奥様）が優勝し前回ブービーメーカーからの奮起しての優勝でした。準優勝・佐野成宏氏、三位・萩原弘道氏。第41回レイクランドカントリークラブ9月2日、16名参加。優勝は佐々木憲英氏で皆勤賞での優勝でした。準優勝・細田拓氏、三位・曾根伸穂氏。第42回星の宮カントリークラブ12月6日冬晴れの中行われ、優勝は巽正典氏でした。準優勝・相沢庄平氏、三位・宮坂秀樹氏でした。この日の夕方から忘年会を割烹千代田で行いました。毎年1月に会議を設け年間予定を検討しています。

今年は下記の通りです。
 第43回 H25年3月27日 こだまゴルフクラブ
 第44回 " 6月5日 ゴールド栃木プレジデント
 第45回 " 9月11日 ヒルクレストゴルフクラブ
 第46回 " 12月4日 霞ヶ関国際ゴルフクラブ

<次年度予定>

- 親善コンペ（一泊）H25年7月22日 軽井沢高原ゴルフ
- 六大学対抗戦 平成25年11月12日 霞ヶ関カントリークラブ

平成二十四年三月十五日
 第三十九回
 筑波東急ゴルフクラブ



平成二十四年六月六日
 第四十回
 ゴールド佐野カントリークラブ



平成二十四年九月二日
 第四十一回
 レイクランドカントリークラブ



平成二十四年十二月六日
 第四十二回
 星の宮カントリークラブ



新年会スナップ



ゴルフ会スナップ

麻雀会スナップ



24年 総会





2012年10月21日(日)に秋晴れの下、開催され、約8千人の校友とご家族に来場いただきました。稲門祭のテーマ「復興支援」にちなんだイベント、また福引抽選会や稲門祭奨学金贈呈式が行われました。ご協賛、記念品購入等ご支援いただきました皆様に御礼申し上げます。2013年は10月20日(日)開催です。

＜早稲田スポーツ情報＞

【10月】●バドミントン部・全日本学生選手権 女子シングルス2連覇！玉木絵里子(スポ科4年)、男子ダブルス優勝！古賀輝(スポ科1年) 齋藤太一(スポ科1年) ●レスリング部・全日本大学グレコローマン選手権 優勝！74kg級北村公平(教育3年)、120kg級前川勝利(スポ科2年) ●卓球部・全日本大学総合選手権 女子ダブルス優勝！中島未早希(スポ科4年) 加藤充恵(スポ科4年) ●庭球部・全日本大学対抗テニス王座決定試合 男子8連覇・女子7連覇！【11月】●少林寺拳法部・全日本学生大会 男子団体優勝！●フェンシング部・全日本大学選手権 フルーレ優勝！北川隆之介(スポ科3年) ●レスリング部・全日本大学選手権 優勝！66kg級田中幸太郎(社学4年)、120kg級前川勝利(スポ科2年) 【12月】●レスリング部・全日本レスリング選手権大会 優勝！グレコローマン120kg級前川勝利(スポ科2年) 【1月】●ア式蹴球部・全日本大学サッカー選手権大会 男子5年ぶり12度目の優勝！

◆ 競技スポーツセンター指定寄付のご案内

早稲田大学の44の体育各部を統括する競技スポーツセンターの指定寄付は、支援したい「部」を指定して寄付することができます。もしくは「部」を指定されずに「競技スポーツセンター」へご寄付をいただければ、すべての体育各部の強化のために活用させていただきます。

【お問い合わせ】早稲田大学競技スポーツセンター <http://www.waseda.jp/athletic/> 電話 03-5286-3757

◆ 寄付会員制度「WASEDA サポーターズ倶楽部」申込受付中！

「教育環境整備」「スポーツ支援」「奨学金」ほか各種事業への財政支援のため、年度会員として毎年3万円以上を寄付金として拠出いただく寄付会員制度です。会員の皆様には「早稲田講義録」やオリジナルグッズ送付、中央図書館利用等のサービスを提供します。また、寄付金額が規定額を超えると、本学名誉称号を贈呈して、同倶楽部特別会員に就いていただいております。また、ご遺贈による寄付も承っており、早稲田大学の教育、研究、学生支援に活用させていただきます。



【お問い合わせ】WASEDAサポーターズ倶楽部事務局 電話 03-3202-8049

◆ 東日本大震災復興支援酒 早稲田ラベルのご案内

津波の被害を受けた宮城県気仙沼市・(株)男山本店(会長・菅原雅[気仙沼稲門会会長・酒造稲門会])を支援するお酒を早稲田限定「がんばろう日本」ラベルでお届けします。かろうじて津波から逃れた蔵で震災後初めて造られた「華心」(720ml)1本1,300円、12本1セット単位(送料無料)。売上の一部は、「早稲田大学 WASEDA サポーターズ倶楽部」を通じて、被災学生の支援に活用されます。【早稲田大学校友会・早稲田大学校友会東京都23区支部】



【お問い合わせ】(株)男山本店 電話 0226-22-3035 FAX 0226-22-3037 <http://www.kesenuma.co.jp/>

各種ランキング

●2012 国家公務員試験 総合職合格者

国家公務員試験における区分が今年から再編され、I種は「総合職」に、II・III種は「一般職」に再編されました。総合職合格者は昨年度I種合格者と比較して4.6%減少の1326人が合格しました。

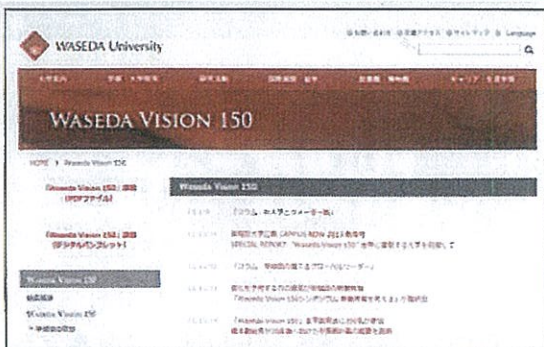
	大学名	合格者
1	東京大学	410
2	京都大学	116
3	早稲田大学	99
4	慶應義塾大学	76
5	東北大学	54

●2012新司法試験合格者

合格者数は過去最多の2,102人。そのうち合格者は男性1,557人、女性545人でした。早稲田大学法科大学院は、合格者数では昨年度の5位から4位に上昇しました。

	法科大学院名	合格者(合格率)	受験者
1	中央大学法科大学院	202(41.3%)	489
2	東京大学法科大学院	194(51.2%)	379
3	慶應義塾大学法科大学院	186(53.6%)	347
4	早稲田大学法科大学院	155(32.8%)	472
5	京都大学法科大学院	152(54.3%)	280

2012年11月、早稲田大学では創立150周年にあたる2032年を目標とした、アジアのリーディングユニバーシティとして確固たる地位を築くための中長期計画「Waseda Vision 150」を策定し、本格的にスタートさせました。柱となるのは①世界に貢献するリーダーの育成、②未来をイノベートする独創的研究の推進、③校友・地域との連携の強化、④アジアの大学のモデルとなる進化する大学、の4つのビジョン。急速に進展するグローバル化を見据え、教育・研究の整備を13の核心戦略を基に実施します。20年後の目標数値として、現在4,362人の留学生を全学生の20%にあたる10,000人へ増加、受入研究費を現状の2倍以上の200億円へ、対話型・双方向型中心の授業の割合を75%（学部）へ引き上げ、寄付金を現在の22億円から収入の約10%にあたる100億円を目指すことなどを設定。2013年度には、秋入学に対応できる4学期制のクォーター制を一部科目に導入、また入試開発オフィスを開設し新入試法を検討する予定です。詳細はウェブサイト (<http://www.waseda.jp/keiei/vision150/index.html>) で公開しています。



ホームページのご案内

<http://www.waseda-urawa.org/>

年会費振込みのお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃 稲門会活動にご協力下さり厚くお礼申し上げます。さて、当会では、年会費として、3千円をお預りし、会の運営に当たらせていただいております。つきましては25年度 年会費お忘れの方は右記にお振込下さいませ、お願い致します。 敬具

記

年会費振込口座

埼玉りそな銀行 浦和中央支店
普通 1713087 浦和稲門会

お問合せ先 浦和稲門会事務局 金子 迄
TEL&FAX 048-861-3445

<不動産管理>

有限会社 ツダックス
代表取締役 辻村大司
さいたま市浦和区岸町 5-8-3
TEL 048-822-2104

浦和稲門会
ゴルフ部会
部会長 吉田俊夫
入会お待ちしております

パッキング・シム製造
各種プレス加工
富士パッキング 株式会社
埼玉県さいたま市木崎 1-2-28
TEL. 048-886-2221(代)
FAX. 048-886-8443

浦和稲門会
ゴルフ部会
委員 若井誠治
早稲田大学校友会 代議員

(有)百丈梱包運輸
代表取締役 金子 努
さいたま市南区白幡 5-12-7
TEL. 048-866-6200 FAX. 048-862-4941
S. 49年 第一政治経済学部卒

Institute of Tech. & Ecom
株式会社 アイテック計画
代表取締役社長 曾根伸穂
再開発プランナー
技術士・区画整理士
一級建築士
事務所 〒160-0004 東京都新宿区四谷4丁目28番地 YKBエンサインビル9F
TEL: (03)3358-6061代. FAX(03)3353-4943
E-mail: sone.nobu@itec-plan.co.jp
自宅 〒336-0962 埼玉県さいたま市緑区下野田950-2-1404
TEL: (携帯)090-3235-3308

SunTrade
代表取締役
綱川寿夫
株式会社 サントレード
〒336-0026 さいたま市南区辻4-9-15
TEL 048-861-4664 FAX 048-866-3527 E-mail: tsuna-h@suntrade.jp

滝沢硝子株式会社
代表取締役 滝澤昌紀
さいたま市中央区大戸 2-23-13
TEL 248-749-1500(代)

三洋電設株式会社
取締役社長 早稲田一也
さいたま市南区鹿手袋 3-22-21
TEL 248-864-9204(代)

レンガの家造り
株式会社 ロッキー住宅
代表取締役 大熊繁紀
さいたま市浦和区常盤 2-10-1

総合建設業
60th
株式会社 田中工務店
ISO 9001・14001 認証JQA
〒336-0026
さいたま市浦和区常盤 10-16-23 FAX 048-831-5797
<http://www.tanaka-koumuten.co.jp>
代表取締役専務 田中一成

キープハウスの
タツミ建設工業(株)
〒336-0038 さいたま市南区鹿手袋 3-4-11
TEL 048-710-5020
FAX 048-710-5021